

今後のステージの運用（道案）等に対する主な意見

1 専門家等の意見

- ・賛成する。人々の気のゆるみを招かないよう医療事情も厳しいことを訴えてほしい。年末年始の気のゆるみが、次の山につながることを明らかにしてほしい。
- ・札幌市はかなり落ち着いてきているが、ここで増加に転じないようにするためにも、基本的に年末・年始の協力要請に賛同。共同メッセージも道民の啓発には効果的と考える。
- ・経済を回復させる段階ではなく、感染防止対策を徹底する時期であり、対策はやむを得ない
- ・年末年始の医療崩壊を防ぐためにも、今回の措置はやむを得ない
- ・飲食店の利用について、全てがダメというわけではなく、北海道スタイルを徹底している飲食店もあるということをきちんと道民に伝えてほしい
- ・特に異論はない。入院患者数が高止まりしている状況のため、医療のひっ迫が解消されるまでは継続すべき
- ・「札幌市内の接待を伴う飲食店に出されている休業要請」および「すすきの地区の酒類提供を行う飲食店・カラオケ店等に出されている営業時間の短縮要請」については、人の移動や人が集まる機会が増え、感染リスクが高まる年末年始であることを考慮すると、医療の立場からは、それぞれ継続すべき

2 市町村・関係団体の意見

- ・道案については了解。今回の取組を会員に徹底し、全面的に協力する
- ・「新規感染者数」などの指標が減少傾向にあることから、これまでの対策は一定の効果があつたと考えられる一方、「病床数」のひっ迫度合いが依然として厳しい状況にあることを考えると、今回の対策はやむを得ない
- ・年末年始における医療提供体制のひっ迫を回避するため、札幌市及び旭川市において、引き続き、特措法に基づく措置を継続することはやむを得ない
- ・今回、休業要請や時短要請が解除されることは歓迎したい。集中対策期間経過後、休業・時短要請に応えた事業者に対し追加施策（支援策）を速やかに打ち出していきたい

- ・ 年末年始は医療提供体制が厳しいので、共同メッセージは良い。感染者の差別・偏見の防止、職場での理解促進などは継続して取り組んでほしい
- ・ 感染拡大防止と経済活動の両立に向け、今回の対策の延長により、全道全域で経済が冷え込むことのないよう、特段の配慮をお願い
- ・ 年末年始を控え必要な医療提供体制を確保する上で、妥当と判断する。共同メッセージの内容についても、私たちの医療を守るためにも必要な呼びかけと受けとめる
- ・ 「移動自体にリスクがある」という誤った認識を定着させることを危惧。また、移動自粛要請に併せて、早急に損失に見合った支援を実施していただくよう強く要望する
- ・ 年末年始に向け、早期にコロナ禍を収束方向に導くためには、道民に対する「共同メッセージ」の発出は、ぜひ実施願いたい